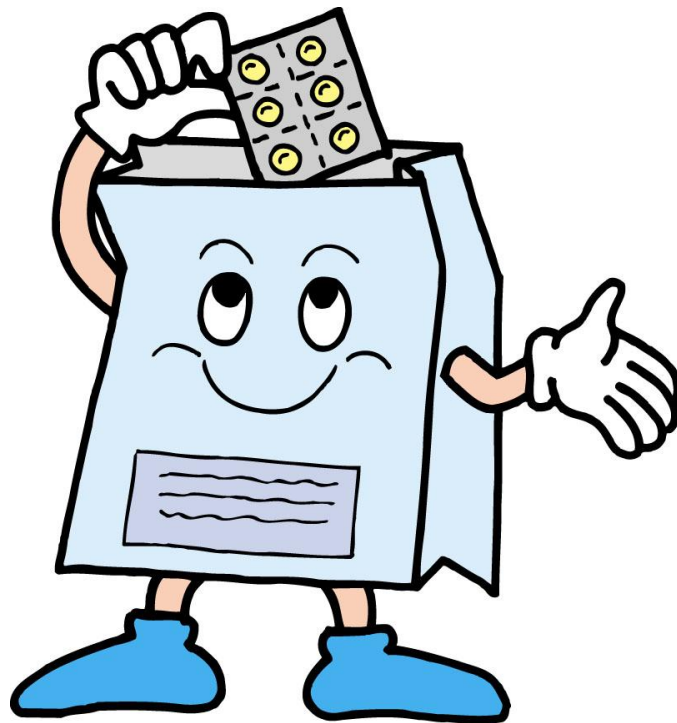


これって副作用かも…

# 医薬品の使用後に あらわれた不快な症状(副作用)を 報告してみませんか？

あなたの報告を、医薬品の安全対策に  
役立てましょう。



報告は、下記のいずれかよりお願いいたします。

1. URL <http://rx.di-research.jp>
2. 医薬品医療機器総合機構ホームページの  
「一般の方からの医薬品の副作用報告」



スマートフォンの方  
はここからアクセス！

## 趣旨

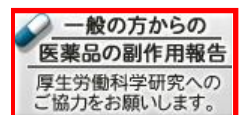
私たちは、医薬品の副作用を、医薬品を使用した方が国に報告し、適切な措置につなげる方策について研究しています。現在、日本では医薬品の使用者本人による副作用報告制度はありませんが、欧米等一部の国では使用者本人からの副作用報告の制度があります。医薬品が正しく安全に使用されるためには、医薬品の使用者からの情報を有効に活用できる方策を検討する必要があります。

## 報告対象

医師が処方した医薬品、薬局やドラッグストアで購入した医薬品いずれについてもご報告いただけます。

## 報告方法(下記のいずれかよりご報告ください。)

1. URL <http://rx.di-research.jp>
2. インターネットで「医薬品医療機器総合機構」と検索  
→「独立行政法人 医薬品医療機器総合機構」をクリック  
→右下にある「一般の方からの医薬品の副作用報告」をクリック



## 調査期間

平成 23 年 1 月～平成 23 年 7 月

## 情報の取り扱いと秘密保護

ご報告いただいた副作用情報は、慶應義塾大学薬学部医薬品情報学講座に報告されますが、次の場合がありますので、ご理解の上、ご報告をお願いします。いずれの場合も、個人が特定されないよう個人名等の個人情報は除いて利用いたします。

- 厚生労働科学研究費補助金の規定により、重篤な副作用が報告された場合は、報告内容を厚生労働省に報告することがあります。
- この研究で収集した副作用報告の内容を同様に、厚生労働省及び医薬品医療機器総合機構での報告制度の検討のため、厚生労働省及び医薬品医療機器総合機構に提供することがあります。
- 報告された内容について学会・論文等で発表することがあります。

## 研究実施体制及び連絡先

慶應義塾大学薬学部大学院薬学研究科医薬品情報学講座 望月眞弓、橋口正行、星順子  
東京大学医学部薬剤疫学講座 久保田 潔  
東京薬科大学薬学部医薬品情報解析学教室 土橋 朗  
北海道薬科大学社会薬学系医薬情報解析学分野 岡崎光洋  
鈴鹿医療科学大学薬学部 山本美智子

厚生労働科学研究費補助金事業「患者から副作用情報を受ける方策に関する調査研究班」